

# Dell Command | Update

バージョン 2.4 ユーザーズガイド



## メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 2018 Dell Inc. またはその子会社。無断転載を禁じます。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

|  |           |
|--|-----------|
| <b>1 本書について.....</b>                           | <b>5</b>  |
| 新機能.....                                       | 5         |
| <b>2 セットアップ.....</b>                           | <b>6</b>  |
| 概要.....  | 6         |
| Dell Command   Update のインストール.....             | 6         |
| Dell Command   Update のアンインストール.....           | 7         |
| Dell Command   Update のアップグレード.....            | 7         |
| サイレントインストール.....                               | 7         |
| アクティビティログ.....                                 | 7         |
| アクティビティログの表示とエクスポート.....                       | 8         |
| <b>3 Dell Command   Update の開始.....</b>        | <b>9</b>  |
| タイトルバー.....                                    | 9         |
| 左側ペイン.....                                     | 10        |
| コンテンツ領域.....                                   | 10        |
| 高度なドライバの復元.....                                | 11        |
| <b>4 Dell Command   Update の機能.....</b>        | <b>12</b> |
| ドライバライブラリのダウンロードとインストール.....                   | 12        |
| アップデートのチェックとインストール.....                        | 12        |
| アップデートの選択.....                                 | 13        |
| 選択のカスタマイズ.....                                 | 14        |
| 依存関係のインストール.....                               | 15        |
| 非表示のアップデート.....                                | 16        |
| アップデートの削除.....                                 | 16        |
| アップデートの復元.....                                 | 16        |
| アップデート履歴.....                                  | 16        |
| システムの復元.....                                   | 16        |
| アップデート履歴の表示.....                               | 17        |
| システム情報の表示とエクスポート.....                          | 17        |
| Dell Command   Update コマンドラインインタフェースオプション..... | 17        |
| コマンドラインインタフェースリファレンス.....                      | 18        |
| コマンドラインインタフェーススイッチの組み合わせ.....                  | 19        |
| <b>5 Dell Command   Update の設定.....</b>        | <b>26</b> |
| 一般設定.....                                      | 26        |
| ソースの場所のアップデート.....                             | 27        |
| アップデートチェックのスケジュール作成.....                       | 27        |
| アップデートフィルタ設定の実行.....                           | 28        |
| 設定のインポートまたはエクスポート.....                         | 28        |

|   |           |
|---|-----------|
| ポリシーファイル.....   | 28        |
| ポリシーファイルの作成.....  | 28        |
| Policy.xml ファイルデータの例.....   | 29        |
| ポリシーファイルへの設定の追加.....  | 29        |
| ポリシーファイルからの設定の削除.....   | 31        |
| 高度なドライバの復元の設定.....  | 31        |
| <b>6 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....</b>   | <b>32</b> |
| <b>7 デルへのお問い合わせ.....</b>  | <b>33</b> |
| <b>8 付録 : Microsoft System Center Configuration Manager コンソールからの Dell Command   Update の使用...</b> | <b>34</b> |
| バージョン 2.4 より前の Dell Command   Update の前提条件.....   | 34        |
| バージョン 2.4 以降の Dell Command   Update の前提条件.....  | 34        |
| Microsoft System Center Configuration Manager からの Dell Command   Update の使用.....                  | 35        |

# 本書について

Dell Command | Update アプリケーションを使用すると、DELL のクライアントシステムを最新のアプリケーション、ドライバ、BIOS、およびファームウェアでアップデートできます。

その他の製品ガイドについては、[Dell.com/support/manuals](https://Dell.com/support/manuals) を参照してください。

- 『*Hardware Owner's Manual*』( ハードウェアオーナーズマニュアル ) は、システム、システムコンポーネントの取り付け、およびシステムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

## 新機能

Dell Command | Update の本リリースでは、次の機能が提供されます。

- セキュリティ強化の設定

# セットアップ

このセクションでは、Dell Command | Update を使用するために必要な要件について説明します。また、このツールの概要と、インストールとアンインストールの手順を示します。

トピック：

- 概要
- Dell Command | Update のインストール
- Dell Command | Update のアンインストール
- Dell Command | Update のアップグレード
- サイレントインストール
- アクティビティログ

## 概要

Dell Command | Update は、使いやすい GUI およびコマンドラインインタフェース ( CLI ) ベースのアプリケーションで、Dell クライアントシステムを最新のアプリケーション、ドライバ、BIOS、およびファームウェアでアップデートできます。

Dell Command | Update を使用する利点は次のとおりです。

- Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデート処理を単純化します。
- 使いやすい CLI を使用して、ドライバのインストールとアップデートを自動化できます。
- 使いやすい GUI で、システムに適切なアップデートを識別して適用します。
- ドライバとアプリケーションに加えて、BIOS とファームウェアもアップデートします。

### ① メモ:

- Dell Command | Update を実行するには、.NET 4.0 またはそれ以降のバージョンが必要です。
- このアプリケーションでサポートされるオペレーティングシステムには、Windows 7、Windows 8.1、および Windows 10 があります。

## Dell Command | Update のインストール

手順を開始する前に、Dell Command | Update をインストールするクライアントシステムに管理者権限でログインしていることを確認してください。

Dell Command | Update をダウンロードするには、次の手順を実行します。

- 1 **dell.com/support** にアクセスします。
- 2 **Dell Command | Update 2.4** を検索します。
- 3 `Sys-Man_Application_XXXXX_WN_y.y_A00.exe` をダウンロードします ( 「x」はソフトウェアビルド、「y」はバージョン番号 ) 。

Dell Command | Update をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 デルサポートサイトからダウンロードした .EXE ファイルをダブルクリックします。
- 2 **インストール** をクリックします。
- 3 **よろこ** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 4 **ライセンス契約** 画面で、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。

- 5 インストールの開始 画面で、インストール をクリックします。
- 6 インストール完了画面で終了をクリックします。
- 7 OK をクリックします。

## Dell Command | Update のアンインストール

このソフトウェアをアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 開始 をクリックします。
- コントロールパネル を選択して、プログラムと機能 をクリックします。
- Dell Command | Update を選択して、アンインストール をクリックします。

## Dell Command | Update のアップグレード

次の方法で、Dell Command | Update を前のバージョンからアップグレードできます。

- セルフアップデート：アップデートがないかを確認するには、よろこ画面で チェック 機能を使用します。詳細については、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。
- 手動アップデート：Dell.com/support から Dell Command | Update 2.4 をダウンロードしてインストールします。

新しいバージョンの Dell Command | Update がある場合、推奨アップデート の下に最新バージョンの Dell Command | Update が表示されます。そのアップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。

① | **メモ:** マイナーなアップグレードの場合は、設定およびポリシーは保持されます。

① | **メモ:** メジャーなアップグレードの場合は、アプリケーションがアンインストールされ、設定やデータは削除されます。

## サイレントインストール

次のいずれかの方法で、Dell Command | Update のサイレントインストールを実行できます。

- コマンドを実行 — コマンドラインインタフェース ( CLI ) を使用して、DCU\_Setup\_2\_4\_0.exe /s /v"/qn" を実行します。
- 実行可能ファイルを実行 — Dell Update Packages ( DUPs ) の Sys-Man\_Application\_XXXXX\_WN\_y.y\_A00.exe /s を実行します ( 「x」はソフトウェアのビルド、「y」はバージョン番号 )。

## アクティビティログ

アクティビティログは、システムにインポートされたアップデートを表示し、エラーや問題を追跡するのに役立ちます。Dell Command | Update で生成されたアクティビティは、次のように分類されます。

- 通常 — 通常メッセージは、Dell Command | Update で通常モードの設定が有効なときに、ログで作成されます。これらのメッセージは、アップデートまたはエラーの高次の詳細を説明するものです。
- デバッグ — デバッグメッセージは、Dell Command | Update でデバッグモードの設定が有効なときに、ログで作成されます。これらのメッセージは、アップデートまたはエラーの詳細を説明するものです。

ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれます。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

表 1. ルート要素の下の要素

| エレメント名      | 説明                       |
|-------------|--------------------------|
| <level>     | アクティビティログのレベル。           |
| <timestamp> | アクティビティが作成されたときのタイムスタンプ。 |
| <source>    | アクティビティを生成したアプリケーション操作。  |

| エレメント名    | 説明                 |
|-----------|--------------------|
| <message> | アクティビティの詳細情報。      |
| <data>    | アクティビティの追加情報を示します。 |

## アクティビティログの表示とエクスポート


アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 **ようこそ** 画面で、**アクティビティログ** をクリックします。  
**アクティビティログ** 画面が表示されます。  
デフォルトでは、過去 7 日、15 日、30 日間、90 日、または、1 年間に実行されたアクティビティが表示されます。期間を設定するには、ドロップダウンリストから選択します。
- 2 ドロップダウンリストで、アップデートアクティビティを表示する日数を選択します。**過去 15 日** を選択すると、今日までの過去 15 日間に Dell Command | Update で実行されたアップデートアクティビティを表示できます。
  - ① **メモ:** ⓘ をクリックすると、アプリケーションエラーメッセージなどのメッセージログエントリに関する詳細情報を表示できます。この情報は、エクスポートされたログファイルでも利用できます。
  - ① **メモ:** エラーまたは障害のログエントリの横にある **注意** アイコンをクリックすると、可能性のある破損または問題を回避する方法に関する情報を表示できます。
- 3 日付またはメッセージタイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、**日付** または **メッセージ** の横の ▼ をクリックします。
- 4 **エクスポート** をクリックすると、アクティビティログが .XML 形式でエクスポートされます。
- 5 **保存** をクリックして変更を保存する、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
- 6 **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。

# Dell Command | Update の開始

Dell Command | Update を手動または自動で初めて起動すると、Dell Command | Update – セットアップ 画面に、アップデートを検出、確認、およびインストールするための次のようなセットアップオプションが表示されます。

表 2. セットアップオプション

| オプション  | 説明  |
|--|---|
| はい、デフォルト設定で自動的に実行します (推奨)                        | <p>デフォルト設定を使用し、アップデートを自動的にチェックします。</p> <p>① <b>メモ:</b> デフォルトの設定を表示する場合は、設定アイコン  をクリックすると、スケジュール タブの 自動的にアップデートをチェックする に設定が表示されます。</p> <p>① <b>メモ:</b> このオプションは、デフォルトで選択されています。</p> |
| はい、自動で実行しますが、今すぐ設定を確認 / 編集します                    | 自動的にアップデートをチェックし、設定済みの設定を確認または編集できます。   |
| いいえ、今は Dell Command   Update アップデートを自動的にチェックしません | Dell Command   Update は、アップデートを自動的にチェックしません。  |

デルの工場からシステムを受け取った場合は、システムが 4 回目に起動した後で Dell Command | Update が自動的に起動し、利用可能なアップデートがあるかどうかスキャンします。この場合、よろこ 画面には **アップデートをチェック** 機能が表示されず、インストール可能な利用可能なアップデートのリストが表示されます。

① **メモ:** Dell Command | Update は、次の場合にのみ、自動で起動します。

- Dell Command | Update が工場インストールされている場合。
- Dell Command | Update が手動で起動されない場合。

トピック :

- [タイトルバー](#)
- [左側ペイン](#)
- [コンテンツ領域](#)

## タイトルバー

タイトルバーには、製品の名前とバージョン番号、およびさまざまなアクティビティのアイコンが表示されます。

表 3. タイトルバーのアイコン

| アイコン | 説明   |
|------|--|
| ?    | 各画面のヘルプを表示します (すべての画面の右上隅にあります)。   |
| ⚙️   | <b>設定</b> 画面が表示されます。 <b>設定</b> 画面では、Dell Command   Update のオプション (アップデートのダウンロードしたファイルの場所、アップデートのスケジュール設定、アップデートのカスタマイズなど) をカスタマイズできます。 |
| —    | アプリケーションを最小化します (すべての画面の右上隅にあります)。   |
| □    | アプリケーションを最大化します (すべての画面の右上隅にあります)。   |
| ×    | アプリケーションを閉じます (すべての画面の右上隅にあります)。   |

## 左側ペイン

次の表に、左側ペインにある使用可能なオプションとその説明を示します。

表 4. 左側ペイン

| オプション        | 説明   |
|--------------|--|
| システムモデル      | DELL システムのイメージとモデルを表示します。  |
| サービスタグ       | システムの製造元によって提供された製品 ID を表示します。   |
| 最後のチェック      | システムが最後にアップデートをチェックした日時に関する情報を提供します。                                       |
| 最後のアップデート    | システムが最後にアップデートされた日時に関する情報を提供します。   |
| アップデート履歴     | <b>アップデート履歴</b> 画面が表示されます。<br>次の項を参照: <a href="#">アップデート履歴</a>             |
| システム情報       | <b>システム情報</b> 画面が表示されます。<br>「 <a href="#">システム情報の表示とエクスポート</a> 」を参照してください。 |
| アクティビティログ    | <b>アクティビティログ</b> 画面が表示されます。<br>「 <a href="#">アクティビティログ</a> 」を参照してください。     |
| ご意見をお聞かせください | Dell Command   Update についてのフィードバックと満足度評価をご提供いただけるオンラインアンケートが起動します。         |

## コンテンツ領域

コンテンツ領域からアップデートをチェックしてインストールできます。

詳細については、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。また、ドライバライブラリをダウンロードしてインストールすることもできます。詳細については、「[高度なドライバの復元](#)」を参照してください。

## 高度なドライバの復元

**Windows 再インストールのための高度なドライバの復元** オプションを使用すると、新しいシステムや新しい Windows のイメージによって再イメージ化されたシステム、ネットワークアダプタ（互換性のあるネットワークドライバ搭載）にドライバをインストールして、Dell Command | Update をインストールできます。

詳細については、「[ドライバライブラリのダウンロードとインストール](#)」を参照してください。

## Dell Command | Update の機能

### ドライバライブラリのダウンロードとインストール

DELL システムにドライバライブラリをダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **よろこ** 画面で、**ここをクリックして完全なドライバライブラリをダウンロードしてインストールする** オプションを選択します。

① **メモ:** システムの完全なプロファイルライブラリをダウンロードするプロセスは、自動化されています。

① **メモ:** このプロセスでは、従量制のネットワーク接続を使用している場合、コストがかかる場合があります。

**ドライバ復元の準備中** 画面が表示され、ドライバがインストールされます。インストール中には、次のようなさまざまなステータスメッセージが表示されます。

- コンポーネントアップデートのチェック — 使用可能なドライバライブラリをチェックします。
- システムデバイスのスキャン — システムをスキャンして、システム上に存在するすべてのデバイスに関する情報を収集します。
- システムドライバライブラリの検索 — システム上のドライバライブラリを検索し、ドライバのバージョンをチェックして、そのシステムに使用できるドライバアップデートを判断します。
- ダウンロードの開始 — アップデートのダウンロードを開始します。
- ドライバの抽出 — アップデートがダウンロードされたら、システムにインストールするために解凍されます。
- インストールの準備 — デジタル署名を検証し、オペレーティングシステムの復元ポイントを作成します。
- ドライバのインストール — インストールのステータスは x of y 形式で表示されます (「x」はインストールされているドライバの数、「y」は使用可能なドライバの合計数)。ドライバのインストール後にシステムを自動で再起動するには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** チェックボックスを選択します。
- インストール完了 — x of y successful 形式でドライバインストールの完了が示されます (「x」はインストールされたドライバの数、「y」は使用可能なドライバの数)。

このアクティビティを終了するには、**キャンセル** をクリックして **よろこ** 画面に戻ります。

- 2 ドライバのインストール完了後、**閉じる** をクリックして **よろこ** 画面に戻ります。

システムドライバの最新バージョンへのアップデートの詳細については、「**アップデートのチェックとインストール**」を参照してください。

### アップデートのチェックとインストール

DELL システムでアップデートをチェックしてインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **よろこ** 画面で、**チェック** をクリックします。

Inventory Collector は自己完結型のアプリケーションで、システムのハードウェア情報を取得するために使用されます。Inventory Collector は、システムの BIOS、ファームウェア、アプリケーション、およびドライバのインベントリステータスを収集します。インベントリステータスは .XML 形式で提供されています。Inventory Collector は、インベントリモジュールをシステムのローカルドライブの一時的な場所にコピーし、ネットワーク接続が失われても、インベントリステータス収集が実行されるようにします。

- a Dell Command | Update は、[downloads.dell.com](https://downloads.dell.com) または設定したその他のソースの場所に接続し、アップデートの有無をチェックします。
- b **キャンセル** をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソースの場所の変更の詳細については、「**一般設定**」を参照してください。

**アップデートのチェック** タスクが開始し、画面が表示されます。

**アップデートのチェック** タスクには、次の動作が含まれます。

- コンポーネントのアップデートのチェック
- システムデバイスのスキャン
- 使用可能なアップデートの有無のチェック

**アップデートのチェック** 画面には、システムスキャンのステータスが表示されます。アップデートが見つかったら、Dell Command | Update によって、アップデートをインストールするためのプロンプトが表示されます。

アップデートが見つからない場合は、**使用可能なアップデートがありません** メッセージが表示され、システム上のデバイスが最新の状態であることが示されます。**閉じる** をクリックして Dell Command | Update を終了します。

設定したアップデートの可用性と設定に基づいて、**使用可能なアップデートがありません** メッセージが表示されます。このメッセージは、次のようなシナリオで表示されます。

- デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを維持しており、使用できるアップデートがない場合。
- すべての使用可能なアップデートが、非表示として選択されている場合。

① **メモ:** 詳細表示 画面でアップデートをチェックするには、**表示** をクリックします。**閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

デフォルトの **ダウンロードフィルタ** の選択を変更して、使用できるアップデートがない場合には、**アップデートを利用できません (現在のダウンロードフィルタの選択設定に基づく)** というメッセージが表示されます。

アップデートが見つかった場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。詳細に関しては、「[アップデートの選択](#)」を参照してください。

- 2 **詳細表示** をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。
  - a 以前非表示だったアップデートを表示するには、**非表示のアップデートを表示する** を選択します。
  - b **閉じる** をクリックして、前の画面に戻ります。

詳細については、「[アップデートのカスタマイズ](#)」を参照してください。

- 3 (オプション) アップデートのインストール後に Dell Command | Update が自動的にシステムを再起動するように設定するには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** を選択します。
- 4 **インストール** をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。

① **メモ:** インストール中に **キャンセル** をクリックすると、Dell Command | Update はすでに適用されているアップデートをロールバックせずに、よろこそ画面に戻ります。

新規または再イメージ化されたシステムへのアップデートのインストールの詳細については、「[高度なドライバの復元の設定](#)」を参照してください。

## アップデートの選択

よろこそ画面で **チェック** をクリックすると、**アップデートのチェック** タスクが実行され、システムで使用可能なアップデートがある場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。アップデートの概要は、update type <x of y, z MB> の形式で見出しの横に表示されます (「x」はダウンロードされるアップデートの数、「y」は使用可能なアップデートの数、「z」は使用可能なアップデートのサイズ (MB))。重要度に基づいて、アップデートは、次のように分類されます。

- **重要なアップデート** — システムの信頼性、セキュリティ、および可用性の向上のために重要なアップデートです。
- **推奨されるアップデート** — システムにインストールすることが推奨されるアップデートです。
- **オプションのアップデート** — これらはオプションのアップデートです。
- **Dell ドッキングソリューション** — これらのアップデートは Dell ドッキングソリューション用です。

① **メモ:** Dell ドッキングソリューションのオプションが選択されている場合：

- Dell ドッキングソリューション用のアップデートは、**選択のカスタマイズ** 画面では選択解除できません。
- **システムを自動的に再起動する (必要な場合)** オプションが選択されており、選択解除できません。
- システムは複数回再起動して、インストールを続行する場合があります。
- Dell ドッキングソリューションに含まれるアップデートがある場合は、1つまたは複数のカテゴリ (重要、推奨、オプション) が選択されて、選択解除できません。
- Dell ドッキングソリューション用に利用可能なアップデートがない場合は、Dell ドッキングステーションのオプションは表示されません。

① **メモ:** 次の場合には警告が表示されます。

- インストールが必要なアップデートに、中間バージョンのアップデートが必要な場合。アップデートに複数の内部依存関係がある場合、Dell Command | Update はインストール可能な最新のバージョンをインストールします。ただし、最新バージョンがない場合があります。このタスクでは、最新アップデートのバージョンをインストールするために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係のインストール](#)」を参照してください。
- システムで BitLocker が有効になっているために一部のアップデートがブロックされることがあります。インストールを続行するには、コントロールパネルで BitLocker を一時停止します。デルでは、アップデートのインストール後に BitLocker を再開することを推奨します。
- インストールできない一部のアップデートでは、電源アダプタがシステムに接続されている必要があります。



## 選択のカスタマイズ

選択されたアップデート画面で **詳細表示** をクリックすると **選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。この画面には、システムに適用するアップデートの選択に役立つコンポーネントの名前、サイズ、およびリリース日などの使用可能なすべてのアップデートの詳細情報が、その他の情報と共にリストされます。アップデートは、割り当てられている重要度に基づいてグループ化されています。

以下の表は、この画面上にあるオプションを示しています。







表 5. 選択のカスタマイズオプション

| ユーザーインターフェース          | 説明   |
|-----------------------|--|
| 重要なアップデート (x/y、サイズ)   | システムに適用できる重要なアップデートを表示します。重要アップデートの選択を変更することもできます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アップデートの名前。</li><li>• アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。</li><li>• アップデートのリリース日。</li><li>• 中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、<b>詳細表示</b> に移動します。ツールヒント <b>i</b> に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。</li></ul> |
| 推奨アップデート (x/y、サイズ)    | システムで使用可能な推奨されるアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アップデートの名前。</li><li>• アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。</li><li>• アップデートのリリース日。</li><li>• 中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、<b>詳細表示</b> に移動します。ツールヒント <b>i</b> に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。</li></ul>                      |
| オプションアップデート (x/y、サイズ) | システムで使用可能なオプションのアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• アップデートの名前。</li></ul>   |

| ユーザーインターフェイス | 説明   |
|--------------|--|
|              | <ul style="list-style-type: none"> <li>アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。</li> <li>アップデートのリリース日。</li> <li>中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、<b>詳細表示</b> に移動します。ツールヒント  に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。</li> </ul> |
| すべて選択        | <p>インストール用の、重要、推奨、オプションのすべてのアップデートを選択します。</p> <p> <b>メモ:</b> 一部のアップデートでは、電源アダプタがシステムに接続されている必要があります。</p>  |

この画面には、この他に以下のオプションがあります。

表 6. 選択のカスタマイズオプション

| ユーザーインターフェイス  | 説明  |
|---|---|
|    | このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、アップデートをパッケージを適用するために電源アダプタをシステムに接続してください。これはノートブックまたはタブレットシステム上の BIOS およびファームウェアアップデートの場合のみに限られます。   |
|    | アップデートの横にこのアイコンが表示される場合は、アップデートパッケージを適用するために、お使いのシステムの <b>コントロールパネル</b> から BitLocker を一時停止してください。<br> <b>メモ:</b> デルでは、システムへのアップデートのインストール後に BitLocker を再開することを推奨します。 |
|   | これをクリックすると、ツールヒント ウィンドウにアップデートパッケージについての追加詳細情報が表示されます。  |
|  | これをクリックすると、 <b>dell.com/support</b> のウェブページが開き、このアップデートパッケージに関する詳細が表示されます。  |
|  | アップデートの横にこのアイコンが表示されている場合は、それがドッキングソリューションのアップデートの一部であることを示しています。   |


アップデートの横にあるチェックボックスを使用して、アップデートパッケージを選択します。列の一番上にあるチェックボックスを使用すると、**選択のカスタマイズ** 画面のすべてのアップデートの選択を切り替えます。

## 依存関係のインストール

Dell Command | Update は、アップデートパッケージを使用して、システムに対する最新のアップデートを判断します。アップデートパッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバ、およびソフトウェアの拡張機能や変更が含まれています。通常、アップデートは自立していて、プリインストールと適用可能な依存関係を実行しますが、アップデートが次のように依存することがあります。

- 内部依存関係**：これらのアップデートは同じアップデートタイプ（BIOS など）であり、特定の順序でインストールまたはアップデートする必要があるため、スキャンやアップデートが複数回必要になることがあります。

たとえば、システムにバージョン A01 の BIOS がインストールされていて、利用可能なアップデートはバージョン A05 で、バージョン A03 がバージョン A05 の前提条件であるとして。その場合、先にシステムをバージョン A03 にアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、バージョン A05 にアップデートします。

 **メモ:** システムアップデートを選択すると、そのシステムのアップデートサイクルが複数回実行され、利用可能な最新バージョンにアップデートされます。

- 相互依存関係**：コンポーネントをアップデートするために、アップデートタイプが異なる別の依存関係コンポーネントのアップデートが必要な場合は、その依存関係コンポーネントをアップデートしてから、選択したコンポーネントを推奨バージョンにアップデートする必要があります。

たとえば、システムでファームウェアのアップデートが必要であるとします。システムのファームウェアをアップデートするには、先に、システム BIOS を必要最低限のバージョンにアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムのファームウェアをアップデートする前に、システム BIOS を必要なバージョンにアップデートします。

- ① **メモ:** アプリケーションがシステムアップデートを開始すると、そのシステムのアップデートサイクルが複数回実行され、利用可能な最新バージョンにアップデートされます。
- ① **メモ:** インストールするアップデートに依存関係がある場合、Dell Command | Update はアップデートプロセス中に情報アラートで通知を行います。
- ① **メモ:** 非依存のアップデートと相互依存のアップデートは、内部依存アップデートの前にインストールされます。

## 非表示のアップデート


非表示のアップデート機能を使用すると、スキップするアップデートを指定して、利用可能なアップデートのリストから削除することができます。選択のカスタマイズ画面で非表示のアップデートを表示するには、**非表示のアップデートを表示する** チェックボックスを選択します。

- ① **メモ:** 使用可能なアップデートの前提条件である以前のバージョンのインストールが非表示になっている場合、システムではそれ以降のアップデートが表示されません。最新バージョンをインストールするには、以前のバージョンを再表示してインストールする必要があります。

次のスキャンの実行で特定のタイプのアップデートを除外するには、**アップデートフィルタ** 設定を使用します。詳細については、「[アップデートフィルタ設定の実行](#)」を参照してください。


## アップデートの削除

使用可能なアップデートのリストからアップデートを削除するには、次の手順を実行します。

- 1 **選択のカスタマイズ** 画面で、非表示にするアップデートの横にある  をクリックします。  
使用可能なアップデートのリストからアップデートが削除されます。それ以降システムスキャンを実行しても、利用可能なアップデートのリストには表示されません。
- 2 **閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

## アップデートの復元

使用可能なアップデートのリストにアップデートを復元するには、次の手順を実行します。

- 1 **選択のカスタマイズ** 画面で、使用可能なアップデートのリストに追加するアップデートの横にある  をクリックします。  
アップデートが使用可能なアップデートのリストに復元されます。
- 2 **閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

## アップデート履歴

**アップデート履歴** 画面では、これまでにシステムにインストールされたアップデートの詳細を表示することができます。この詳細には、コンポーネントの名前、コンポーネントのタイプ、アップデートされた日付、およびシステムで利用可能なコンポーネントの現在または最新のバージョンが含まれています。アップデートをインストールするたびに、Dell Command | Update によって、オペレーティングシステム内に DELL アップデートという名前の復元ポイントが作成されます。復元ポイントは、システムファイル、インストール済みアプリケーション、および Windows レジストリに対するアップデートを元に戻すために使用できるタイムスタンプです。復元ポイントのリストは **システムの復元** ウィンドウで表示することができます。

## システムの復元

**システムの復元** ウィンドウを使用しても、そのシステムに対する一連のアップデートを元に戻すことができます。

① **メモ:** BIOS またはファームウェアのアップデートは、ハードウェアに保存されるため、システムの復元 ウィンドウを使用しても元に戻すことはできません。

① **メモ:** 詳細については、システムの復元 に関する Microsoft のドキュメントを参照してください。

## アップデート履歴の表示

アップデート履歴を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **ようこそ** 画面で、**アップデートの履歴** をクリックします。  
**アップデートの履歴** 画面が表示されます。  
複数のアップデートが存在する場合は、各行の長さをそれぞれ変更して詳細を表示することができます。
- 2 **閉じる** をクリックして、**ようこそ** 画面に戻ります。

## システム情報の表示とエクスポート

システム情報を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 **ようこそ** 画面で、**システム情報** をクリックします。  
**システム情報** 画面にはシステムの詳細情報が表示されます。
- 2 **システム詳細のエクスポート** をクリックすると、システムの詳細が XML 形式で保存されます。
- 3 **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。

## Dell Command | Update コマンドラインインタフェースオプション

コマンドラインインタフェース ( CLI ) は、管理者がアップデートのために自動リモート展開インフラストラクチャを使用することを可能にします。コマンドラインインタフェースは基本オプションを提供し、アプリケーションの GUI バージョンがサポートする機能のすべては含まれません。

Dell Command | Update は、バッチおよびスクリプティングシナリオで使用するアプリケーションのコマンドラインバージョンを提供します。CLI は完全に自動化されており、インタラクティブなユーザープロンプトはありません。カタログの場所の設定、新しいポリシーファイルのインポート、デフォルトログ場所の変更などのコマンドラインパラメータとして、基本的なランタイムオプションが提供されています。

CLI インタフェースを実行するには、Dell Command | Update のインストール先フォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe` コマンドを実行します。

使用可能なオプションに関する追加情報を表示するには、Dell Command | Update のインストール先フォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe -?` を実行します。

Dell Command | Update CLI は、実行が完了した後で次のリターンコードを返します。

- 0 = OK/ 成功
- 1 = 再起動が必要
- 2 = 致命的なエラー
- 3 = エラー
- 4 = 無効なシステム
- 5 = 再起動とスキャンが必要

`dcu-cli.exe` を実行するときにパラメータを指定しないと、使用可能なアップデートのチェック、ダウンロード、およびインストールがデフォルト動作となります。

## ① メモ:

- 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていないとインストールできません。
- 一部のアップデートでインストールを完了するために再起動が必要な場合でも、システムが自動的に再起動することはありません。

# コマンドラインインタフェースリファレンス

次の表には、Dell Command | Update で使用可能な CLI オプションに関する情報がリストされています。

CLI 構文は次のとおりです。

**dcu-cli.exe <option1> [<value1>] <option2> [<value2>]...**

表 7. CLI リファレンス

| CLI オプション | 説明  | 構文  |
|-----------|---|---|
| /?        | すべての CLI オプションの使用方法を表示します。<br><br><b>① メモ: /? を指定すると、他のすべてのオプションは無視されます。</b>  | dcu-cli.exe /?  |
| /catalog  | リポジトリとカタログファイルの場所を設定します。<br><value> はログディレクトリのパスです。<br><br>/catalog パラメータはパスのリストを受け入れず、単一のパスのみを受け入れます。<br><br>複数のパスを含める (バックアップの場所を含める等) 場合は、/policy オプションを使用します。 | dcu-cli.exe /catalog \<br>MyServer\MyRepositoryShare<br>MyCatalog.xml<br>マップされたドライブの場合<br><br>:dcu-cli.exe /catalog \\Z:<br>MyRepositoryFolder<br>MyCatalog.xmlMyServer<br>MyRepositoryShare<br>MyCatalog.xml |
| /help     | すべての CLI オプションの使用方法を表示します。  | dcu-cli.exe /help   |
| /log      | ファイルディレクトリを設定します。<value> はログディレクトリのパスです。  | dcu-cli.exe /log C:\logs  |
| /policy   | 1回の実行で処理する設定を決定するポリシーファイルを指定します。<value> はポリシーのパスです。<br><br>ポリシーファイルには、1つ、または複数の CLI のパスを含めることができます。   | dcu-cli.exe /policy C:\temp<br>MyPolicy.xml   |
| /import   | ポリシーファイルをインポートします。ファイルを指定するには、/policy オプションが必要です。<br><br><b>① メモ: このオプションは他のオプションと併用できません。</b>  | dcu-cli.exe /import /policy C:<br>temp\MyPolicy.xml   |
| /reboot   | システムが自動的に再起動します (更新が必要な場合)。   | dcu-cli.exe /reboot   |
| /silent   | CLI オプションをサイレントに実行します (状態出力は表示されません)。   | dcu-cli.exe /silent   |
| /hidden   | 現在の非表示アップデートのリストを表示します。<br><br><b>① メモ: このオプションは他のオプションと併用できません。</b>  | dcu-cli.exe /hidden   |

| CLI オプション             | 説明   | 構文   |
|-----------------------|--|--|
| /driverRestore        | ドライバの再インストールを有効にします。ローカルの CAB ファイルを使用するには、cab パスを指定します。                                      | /driverRestore または /driverRestore <path_to_cab>      |
|                       | <b>① メモ:</b> パスが指定されていない場合、DELL Command   Update は、DELL の、このシステム構成専用の cab ファイルを使用します。        |  |
| /addToIgnoreList      | 無視リストにデバイスを追加します。無視リストに追加されているデバイスはアップデートされず、レポートにも表示されません。<value> はコンポーネント ID です。           | dcu-cli.exe /addToIgnoreList <ComponentID>           |
| /removeFromIgnoreList | 無視リストからデバイスを削除します。<value> はコンポーネント ID です。  | dcu-cli.exe /removeFromIgnoreList <ComponentID>      |
| /deleteIgnoreList     | 無視リストからすべてのデバイスを削除します。   | dcu-cli.exe /deleteIgnoreList                        |
| /report               | 使用可能なアップデートのみを表示するレポート (.XML 形式) を生成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのパスです。           | dcu-cli.exe /report <path_to_report_file>            |
| /reportAll            | すべてのアップデートを表示するレポート (.XML 形式) を生成します。このレポートには、無視リストからのアップデートも含まれます。<value> はレポート出力ファイルのパスです。 | dcu-cli.exe /report <path_to_report_file> /reportAll |
| /reportIgnoreList     | 無視リストの使用可能なデバイスを表示するレポート (.XML 形式) を生成します。<value> は無視リストのレポート出力ファイルのパスです。                    | dcu-cli.exe /reportIgnoreList <path_to_report_file>  |
| /reportISV            | 使用可能な ISV アップデートのみを表示するレポート (.XML 形式) を生成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのパスです。      | dcu-cli.exe /reportISV <path_to_report_file>         |
| /forceUpdate          | バージョン番号にかかわらず、選択された 1 つのアップデートを強制的にインストールします。<value> にはアップデートのリリース ID です。                    | dcu-cli.exe /forceUpdate <ReleaseID>                 |
|                       | <b>① メモ:</b> アップデートは、無視リストからでも選択できます。  |  |
| /version              | Dell Command   Update のバージョン情報を表示します。  | dcu-cli.exe /version                                 |

## コマンド例

- リポトリまたはカタログファイルの場所を設定する場合 :

```
<C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate>: dcu-cli.exe /catalog c:\catalog.xml
```

- 新しいポリシーファイルをインポートする場合 :

```
<C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate>: dcu-cli.exe /policy c:\log.txt
```

## コマンドラインインタフェーススイッチの組み合わせ

このセクションでは、Dell Command | Update CLI のさまざまなスイッチを組み合わせたときに、予期される動作について説明します。

① **メモ:**

- **/?**と**/help** スイッチを、他のスイッチと組み合わせることはできません。
- **/import**と**/hidden** スイッチを、他のスイッチと組み合わせることはできません。
- **/silent**と**/log** スイッチを、それ以外の他のスイッチと組み合わせることはできません。

表 8. Dell Command | Update CLI スイッチの組み合わせマトリックス

| スイッチ                       | サポートされる   | サポートされない   |
|----------------------------|---|--|
| <b>/?</b> または <b>/help</b> | なし  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addTolgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deletelgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /silent</li> <li>• /version</li> </ul> |
| <b>/addTolgnoreList</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /silent</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addTolgnoreList</li> <li>• /deletelgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>  |
| <b>/catalog</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addTolgnoreList</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /deletelgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> </ul>  |

| スイッチ                     | サポートされる  | サポートされない  |
|--------------------------|--|---|
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>   |
| <b>/deleteIgnoreList</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul> |
| <b>/driverRestore</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /log</li> <li>• /reboot</li> <li>• /silent</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /policy</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>                                    |
| <b>/forceUpdate</b>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /reboot</li> <li>• /silent</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> </ul>   |

| スイッチ           | サポートされる  | サポートされない   |
|----------------|--|--|
|                |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>  |
| <b>/hidden</b> | なし   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /silent</li> <li>• /version</li> </ul> |
| <b>/import</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /policy</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /silent</li> <li>• /version</li> </ul>                    |
| <b>/log</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /silent</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /reportIgnoreList</li> </ul>   |

| スイッチ                         | サポートされる   | サポートされない  |
|------------------------------|---|---|
|                              |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>  |
| <b>/policy</b>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /log</li> <li>• /import</li> <li>• /reboot</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /silent</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /policy</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>  |
| <b>/reboot</b>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /silent</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>   |
| <b>/removeFromIgnoreList</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /help</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /import</li> <li>• /reboot</li> <li>• /hidden</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /version</li> </ul> |
| <b>/report</b>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /reportAll</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> </ul>   |

| スイッチ                     | サポートされる   | サポートされない  |
|--------------------------|---|---|
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /import</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>  |
| <b>/reportAll</b>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /catalog</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /silent</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>   |
| <b>/reportIgnoreList</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul> |
| <b>/reportISV</b>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /silent</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> </ul>   |

| スイッチ            | サポートされる  | サポートされない   |
|-----------------|--|--|
|                 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /version</li> </ul>   |
| <b>/silent</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /silent</li> <li>• /version</li> </ul>   |
| <b>/version</b> | なし   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• /addToIgnoreList</li> <li>• /catalog</li> <li>• /deleteIgnoreList</li> <li>• /driverRestore</li> <li>• /forceUpdate</li> <li>• /help</li> <li>• /hidden</li> <li>• /import</li> <li>• /log</li> <li>• /policy</li> <li>• /reboot</li> <li>• /removeFromIgnoreList</li> <li>• /report</li> <li>• /reportAll</li> <li>• /reportIgnoreList</li> <li>• /reportISV</li> <li>• /silent</li> <li>• /version</li> </ul> |

# Dell Command | Update の設定

**設定** 画面で設定およびカスタマイズできるのは、アップデートのダウンロードおよび保管の場所、アップデートのフィルタ、アップデートをダウンロードするスケジュール、インターネットプロキシ、設定のインポートまたはエクスポート、およびドライバライブラリのダウンロード場所です。この画面には、次のタブがあります。

- **一般** — アップデートをダウンロードして保管する場所、およびインターネットプロキシ設定の設定と変更の詳細については、「[一般設定](#)」を参照してください。
- **スケジュール** — システムアップデートのスケジュールの設定の詳細については、「[アップデートチェックのスケジュール作成](#)」を参照してください。
- **アップデートフィルタ** — スケジュールされたアップデートのフィルタオプションの変更と保存の詳細については、「[アップデートフィルタ設定の実行](#)」を参照してください。
- **インポート/エクスポート** — 設定のインポートおよびエクスポートの詳細については、「[設定のインポートまたはエクスポート](#)」を参照してください。
- **高度なドライバの復元** — ドライバライブラリをダウンロードする場所の設定の詳細については、「[高度なドライバの復元の設定](#)」を参照してください。

**デフォルトの復元** をクリックすると、元のデフォルト設定に戻ります。

① **メモ:** 管理者がポリシーを適用すると、デフォルトの復元 オプションは無効になります。

トピック :

- [一般設定](#)
- [アップデートチェックのスケジュール作成](#)
- [アップデートフィルタ設定の実行](#)
- [設定のインポートまたはエクスポート](#)
- [ポリシーファイル](#)
- [高度なドライバの復元の設定](#)

## 一般設定

**一般** タブでは、保管する場所のアップデート、ダウンロードする場所のアップデート、およびインターネットプロキシ設定の実行または変更ができます。一般設定を行うには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで **設定** をクリックします。  
**設定** 画面が表示されます。
- 2 ① **メモ:** Dell Command | Update は、アップデートをインストールした後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。  
**ダウンロードファイルの場所** で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
- 3 **アップデートのソースの場所** の下で、**新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。詳細については、「[アップデートソースの場所](#)」を参照してください。
- 4 **インターネットプロキシ** で、以下のいずれかを実行します。
  - **現在のインターネットプロキシ設定を使用する** を選択して、システムで使用可能な現在のインターネットプロキシ設定を使用します。
  - **カスタムプロキシ設定** を選択し、プロキシサーバーおよびポートを設定します。
- 5 **カスタムプロキシ設定** を選択し、かつプロキシ認証を使用する場合は、**プロキシ認証を使用する** チェックボックスを選択して、ユーザー名とパスワードの資格情報を入力します。

### ① メモ:

- ユーザー名とパスワードの資格情報は暗号化されて保存されます。

6 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

### ①

**メモ:** Dell Command | Update が対話型実行で動作している場合に、設定時間後にスケジューラでアップデートをチェックする場合は、Dell Command | Update を閉じる必要があります。これは、一度に実行できるのが 1 インスタンスのアプリケーションのみであること、およびスケジューラインスタンスが対話型インスタンスにブロックされるからです。

## ソースの場所のアップデート

**アップデートソースの場所** には、設定されているすべてのアップデートソースの場所のリストが表示されます。デフォルトの場所は **ftp.dell.com** ですが、Dell Command | Update に複数のソースの場所を追加して、そこにアクセスしてアップデートを確認することができます。

ソースの場所を追加するには、**新規** をクリックし、ファイルの場所へ移動して、catalog.xml ファイルを選択します。選択したカタログファイルが、ソースの場所のリストに追加されます。ソースの場所のエントリに関連付けられている上下の矢印をクリックして、これらの場所に優先順位を付けます。**削除** をクリックすると、そのソースの場所へのパスがリストから削除されます。

① **メモ:** Dell Command | Update は、正常にロードした最初のソースの場所 / カタログを使用します。Dell Command | Update は、リストされているそれぞれのソースの場所をロードしてそのコンテンツを集約することはありません。Dell Command | Update は、Dell.com サイトで利用できないソースの場所については、シグネチャをチェックしません。

## アップデートチェックのスケジュール作成

システムのアップデートを自動でチェックするように Dell Command | Update を設定できます。

次の処置を行います。

- 1 タイトルバーで **設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**スケジュール** をクリックします。
- 3 **アップデートを自動的にチェック > アップデートのチェック** で、次のいずれかを選択します。
  - **手動アップデートのみ** - アップデートを手動でチェックします。このオプションを選択した場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページの他のすべてのフィールドは非表示になります。アップデートを手動でチェックするには、よろこ 画面で、**チェック** をクリックします。
  - **月次** - アップデートを毎月チェックします。Dell Command | Update で、毎月の指定した日時に自動的にアップデートをチェックする場合は、これを選択します。
  - **週次** - アップデートを毎週チェックします。Dell Command | Update で、毎週の指定した日時に自動的にアップデートをチェックする場合は、これを選択します。
    - a ① **メモ:** 時刻および日付を選択するオプションは、毎月 および 毎週 オプションのみで使用することができます。
    - ① **メモ:** Dell Command | Update は、ランダムな間隔で ( このフィールドに設定された時刻から 30 分以内に ) アップデートをチェックします。
    - ① **メモ:** 設定時間後にスケジューラでアップデートをチェックする場合は、Dell Command | Update を閉じる必要があります。

**時刻の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする時刻を選択します。
    - b **日付の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする日を選択します。

たとえば、Dell Command | Update が毎月 1 日の午前 10 時にアップデートをチェックする場合は、**アップデートのチェック** で **毎月**、**時刻の選択** で **10:00 AM**、**日付の選択** で **1** を選択します。
- 4 **アップデートが見つかったとき** で、アップデートが見つかったときに Dell Command | Update が実行する必要があるタスクを次から 1 つ選択します。
  - 通知のみ ( アップデートがある場合 )
  - アップデートをダウンロード ( インストール準備が完了したら通知 )
  - アップデートをダウンロードしてインストール ( 完了後に通知 )
- 5 **アップデートをダウンロードしてインストール ( 完了後に通知 )** を選択した場合は、システムを自動的に再起動させるまでの時間間隔を選択します。

- 6 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。  
アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

① **メモ:** スケジュールされたタスクを実行するには、**Dell Command | Update** を終了する必要があります。

## アップデートフィルタ設定の実行

**アップデートフィルタ** タブで、アップデートのダウンロードおよび表示のためのフィルタを構成することができます。  
アップデートフィルタ設定を実行するには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで **設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。
- 3 ① **メモ:** システムモデル向けの全アップデート オプションを使用してダウンロードされたアップデートには、お使いのシステムに適用されないものが含まれる場合があります。  
**ダウンロード対象** オプションから、次のいずれかのオプションを選択します。
  - **このシステム構成向けのアップデート (推奨)** — このオプションを選択すると、システム構成に固有のアップデートをダウンロードします。
  - **システムモデル向けの全アップデート** — このオプションを選択すると、システムモデルがサポートするすべてのデバイスのアップデートをダウンロードします。
- 4 **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

## 設定のインポートまたはエクスポート

**インポート/エクスポート** タブを使用すると、設定を .XML ファイル形式で保存できます。XML ファイルを使用することにより、その設定を別のシステムに転送したり、別のシステムからインポートしたりすることもできます。これらの XML ファイルを使用して、組織内にインストールされているすべての Dell Command | Update のインスタンスに共通した設定を作成することができます。

設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで **設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**インポート/エクスポート** をクリックします。
- 3 **設定のエクスポート** をクリックして、Dell Command | Update 設定を .XML 形式でシステムに保存します。
- 4 **設定のインポート** をクリックして、以前にエクスポートした設定ファイルから Dell Command | Update の設定をインポートします。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

## ポリシーファイル

管理者は **ポリシーファイル** を使用してプログラムの設定をロックし、他のユーザーが変更できないようにできます。プログラム設定がポリシーファイル内で指定されると、関連する設定が GUI で無効化されます。

## ポリシーファイルの作成

ポリシーファイルを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 サンプルシステムで Dell Command | Update の設定 ( スケジュール、プロキシ、フィルタなど ) を実行して、**設定のエクスポート** を使ってその設定をエクスポートします。設定のエクスポートの詳細については、「**設定のインポートまたはエクスポート**」を参照してください。  
これらの設定は、後で、設定したいクライアントシステムに policy.xml ファイルとしてインポートできます。
- 2 エクスポートした設定ファイル名を policy.xml に変更します。
- 3 policy.xml ファイルを開き、ロックしたい属性のみが含まれていることを確認します。

必要以上の設定がロックされている場合は、エクスポートした `policy.xml` ファイルから設定をいくつか削除する必要があります。Dell Command | Update が使用できるように、このファイルがインストールディレクトリに配置されていることを確認します。

- ① **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてそのポリシーファイルを削除するため、`policy.xml` ファイルを使用する前にそれを別の場所に保存します。ポリシーの設定を変更するには、保存されたポリシーファイルを使用できます。
- ① **メモ:** Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するためには、そのファイルを `policy.xml` と命名してインストールディレクトリに配置する必要があります。

`policy.xml` ファイルを Dell Command | Update のインストールディレクトリに配置して、アプリケーションを起動します。

## Policy.xml ファイルデータの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-16"?>
<dellcommandupdate version="1.0" doctype="settings">
<setting name="filtercriticality_urgent">True</setting>
<setting name="scheduledexecution">On</setting>
<setting name="schemeddays">1</setting>
<setting name="scheduledminute">0</setting>
<setting name="filterapplicable">ShowAllForPlatform</setting>
<setting name="scheduledhour">12</setting>
<setting name="scheduledfrequency">Monthly</setting>
<setting name="automationmode">ScanNotify</setting>
</dellcommandupdate>
```

## ポリシーファイルへの設定の追加

ポリシーファイルに設定を追加するには、次の手順を実行します。

- 1 保存した `policy.xml` ファイルを XML エディタで開いて、新しい `<setting>` エレメントを有効な名前と値で追加します。  
値の設定の詳細については、「[設定と適用される値](#)」の表を参照してください。

例 : `<setting name="scheduledminute">30</setting>`

- 2 ファイルを `.xml` ファイルとして保存して、Dell Command | Update インストールディレクトリ内に配置し、アプリケーションを起動します。

- ① **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてそのポリシーファイルを削除するため、`policy.xml` ファイルを使用する前にそれを別の場所に保存します。ポリシーの設定を変更するには、保存されたポリシーファイルを使用できます。
- ① **メモ:** Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するためには、そのファイルを `policy.xml` と命名してインストールディレクトリに配置する必要があります。

## 設定と適用される値

表 9. 設定と適用される値

| 設定                   | 適用される値  |
|----------------------|---|
| AutomationMode       | ScanNotify、ScanDownloadNotify、ScanDownloadApplyNotify、または ScanDownloadApplyReboot |
| AutoReboot           | True または False  |
| AutoRebootSystemWait | 15、30、または 60  |
| Catalog              | <カタログファイルへのパス >   |
| DownloadPath         | <ダウンロードディレクトリへのパス >   |

| 設定                             | 適用される値   |
|--------------------------------|--|
| DriverCabPath                  | <ドライバ cab へのパス>                                |
| FilterApplicable               | ShowAllForPlatform または ShowOnlyForSystemConfig |
| FilterCriticality_Optional     | True または False                                 |
| FilterCriticality_Recommended  | True または False                                 |
| FilterCriticality_Urgent       | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Audio     | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Chipset   | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Input     | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Network   | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Other     | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Storage   | True または False                                 |
| FilterDeviceCategory_Video     | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Application   | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Bios          | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Driver        | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Firmware      | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Other         | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Patch         | True または False                                 |
| FilterUpdateType_Utility       | True または False                                 |
| HiddenUpdatesList              | アップデート ReleaseID のコンマ区切りリスト                    |
| IsAdvancedDriverRestoreEnabled | True または False                                 |
| ProxyAuthenticationEnabled     | True または False                                 |
| ProxyEnabled                   | True または False                                 |
| ProxyPassword                  | UI でのユーザーエントリによって作成された暗号化パスワード                 |
| ProxyPort                      | ユーザー指定のプロキシポート値                                |
| ProxyServer                    | ユーザー指定のプロキシサーバー値                               |
| ProxyUserName                  | ユーザー指定のプロキシユーザー名                               |
| ScheduledDays                  | 1 ~ 7  |
| ScheduledExecution             | Off または On                                     |
| ScheduledFrequency             | Weekly または Monthly                             |
| ScheduledHour                  | 1 ~ 24   |
| ScheduledMinute                | 1 ~ 60   |
| ScheduledRebootWait            | 5、15、または 60                                    |

## ポリシーファイルからの設定の削除

ポリシーファイルから設定を削除するには、次の手順を実行します。

- 1 保存した `policy.xml` ファイルを XML エディタで開きます。
- 2 設定のエレメントタグを削除します。  
例 : `<setting name="scheduledminute">30</setting>`
- 3 ファイルを .XML ファイルとして保存して、Dell Command | Update インストールディレクトリ内に配置し、アプリケーションを起動します。

① **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてそのポリシーファイルを削除するため、`policy.xml` ファイルを使用する前にそれを別の場所に保存します。ポリシーの設定を変更するには、保存されたポリシーファイルを使用できます。

① **メモ:** Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するためには、そのファイルを `policy.xml` と命名してインストールディレクトリに配置する必要があります。

## 高度なドライバの復元の設定

**高度なドライバの復元** タブでは、新品または整備済みシステム用にドライバライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。高度なドライバの復元を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで **設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**高度なドライバの復元** をクリックします。
- 3 **有効** をクリックして、**ようこそ** 画面の **Windows 再インストールのための高度なドライバの復元** オプションを切り替えます。

この機能は、デフォルトで次のようになります。

- システムに Dell Command | Update をインストールするときに有効化されます。
- Dell Command | Update が工場ですべてインストールされている場合は、無効になっています。
- Dell Client System Update 1.3 から Dell Command | Update 2.0 以降にアップグレードすると、無効化されます。

システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。

- 4 次のいずれかのオプションを選択します。
  - **dell.com/support** サイトからドライバライブラリをダウンロードします ( 推奨 )。
  - **指定されたドライバライブラリを使用します** : ローカルまたはネットワーク上の場所からドライバライブラリをダウンロードするには、**参照** をクリックして場所を指定します。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **ようこそ** 画面に戻ります。

# Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントに、次のリンクを使用してアクセスできます。

- Dell EMC エンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/SoftwareSecurityManuals](http://www.dell.com/SoftwareSecurityManuals)
- Dell EMC OpenManage のドキュメント — [www.dell.com/OpenManageManuals](http://www.dell.com/OpenManageManuals)
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/esmmanuals](http://www.dell.com/esmmanuals)
- iDRAC および Dell EMC Lifecycle Controller のドキュメント — [www.dell.com/idracmanuals](http://www.dell.com/idracmanuals)
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理のドキュメント — [www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](http://www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement)
- Dell EMC 保守ツールのドキュメント — [www.dell.com/ServiceabilityTools](http://www.dell.com/ServiceabilityTools)
- a [www.dell.com/Support/Home](http://www.dell.com/Support/Home) にアクセスします。
- b **すべての製品から選択** をクリックします。
- c **すべての製品** セクションで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
  - **エンタープライズシステム管理**
  - **リモートエンタープライズシステム管理**
  - **保守ツール**
  - **Dell Client Command Suite**
  - **Connections Client Systems Management**
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
  - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

## デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

# 付録 : Microsoft System Center Configuration Manager コンソールからの Dell Command | Update の使用

このセクションでは、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用して、アップデートをインストールするためのベストプラクティスについて説明します。

① **メモ:** このセクションは IT 管理者を対象としており、Microsoft System Center Configuration Manager、タスクシーケンス、またはパッケージの導入プロセスの説明は本書の範囲外です。

トピック :

- バージョン 2.4 より前の Dell Command | Update の前提条件
- バージョン 2.4 以降の Dell Command | Update の前提条件
- Microsoft System Center Configuration Manager からの Dell Command | Update の使用

## バージョン 2.4 より前の Dell Command | Update の前提条件

以下は、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用する場合の前提条件です。

### 1 設定ファイルの作成

次のコンテンツを含む C:\Programdata\Dell\CommandUpdate で **MySettings.xml** を作成します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-16">
<dellcommandupdate version="1.0" doctype="settings">
<setting name="downloadpath">C:\ProgramData\Dell\CommandUpdatesetting name="downloadpath"></
setting>
</dellcommandupdate>
```

### 2 バッチファイルの作成

次のコンテンツを含む C:\Programdata\Dell\CommandUpdate で **RunDCU.cmd** を作成します。

```
start /wait "C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /import /policy C:
\ProgramData\Dell\CommandUpdate\MySettings.xml
if %ERRORLEVEL% == 0 goto RUNDCU
else goto QUITTASK
RUNDCU
"C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /log C:\ProgramData\Dell\DCU.log
/silent
:QUITTASK
exit /b %ERRORLEVEL%
```

## バージョン 2.4 以降の Dell Command | Update の前提条件

以下は、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用する場合の前提条件です。

### バッチファイルの作成

次のコンテンツを含む C:\Programdata\Dell\CommandUpdate で RunDCU\_2x.cmd を作成します。

```
"C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /log C:\ProgramData\Dell\DCU.log /silent
```

# Microsoft System Center Configuration Manager から の Dell Command | Update の使用

Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用してアップデートを完了するためのタスクシーケンスを作成することをお勧めします。

前提条件：

- [設定ファイルの作成](#)
- [バッチファイルの作成](#)

- 1 パッケージを作成するには、次の手順を実行します。
  - a **アプリケーション管理**の下の**パッケージ**を右クリックして、**パッケージの作成**を選択します。
  - b **このパッケージにはソースファイルが含まれます**をクリックすると、Dell Command | Update Dell Update Package を含むフォルダの詳細が提供されます。
  - c **次へ**をクリックします。
  - d **標準プログラム**を選択し、**次へ**をクリックします。
  - e お使いの環境に応じて、プログラムの詳細を提供します。
  - f パッケージの作成が正常に終了するまで、**次へ**をクリックします。
- 2 Microsoft System Center Configuration Manager コンソールで、次の手順に従ってタスクシーケンスを作成します。
  - a Dell Command | Update をインストールします。
  - b Dell Command | Update を実行します。
  - c システムを再起動します。
- 3 手順 1 で作成したパッケージを、タスクシーケンスの手順 2a「Dell Command | Update のインストール」に関連付けます。
- 4 前提条件として作成したバッチファイルを、タスクシーケンスの**手順 2b「Dell Command Update の実行」**に関連付けます。
  - 2.4 より前のバージョンの場合は、バッチファイル ( **RunDCU.cmd** ) を関連付けます。
  - 2.4 以降のバージョンの場合は、バッチファイル ( **RunDCU\_2x.cmd** ) を関連付けます。

## ① メモ:

- タスクシーケンスの手順 2b は戻りコードによって複数回実行する必要がある場合があります。
  - Dell Command | Update 2.4 以降では、アップデートを完了するのに複数回再起動が必要になる場合があります。再起動プロセス中に、Dell Command | Update は必要なアップデートを適用し、ステータスを示すリターンコードを返します。
  - Dell Command | Update バージョン 2.4 以降の場合は、リターンコードが 0 になるまでタスクシーケンスの手順を実行します。
  - ログファイルを手動で分析することで、クライアントシステムがアップデートされたことを確認します。
- 5 クライアントの再起動をタスクシーケンスの手順 2c「コンピュータの再起動」に関連付けます。